

事務事業マネージメントシート

作成日 平成25年05月07日

事務事業名	子育て支援事業				担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				電話番号 0285-83-8121	
施策名	2	子育て支援の充実				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和41 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	母子保健法						
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	1.保健衛生費	3.保健指導費			
事業概要	<p>【目的】 育児に関する正しい情報を提供すると同時に、育児不安や悩みにきめ細かに対応し、自信をもって育児できるように支援する。育児の孤立化を防ぐため、育児中の親の交流の機会を設け、仲間づくりを支援する。</p> <p>【事業内容】 赤ちゃん教室、離乳食教室、こどもフェスティバルなどを実施している。また、親子の豊かなふれあいを推進するため、乳幼児健康診査会場で、絵本とのふれあい事業を実施している。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
24年度実績 ・広報誌、母子手帳交付時妊婦指導、赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査会場などでP.Rした。 ・乳児期の母子を対象に、絵本と親しむ親子のふれあい事業を乳幼児健康診査会場で実施した。 また、乳児期からの子育て支援として赤ちゃん教室（12回）、離乳食教室（12回）実施した。		名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 子育て支援事業参加者数（乳幼児数）		人	1,891	1,775	1,896	1,852	1,880
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
25年度計画 ・平成24年度と同様									
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
・乳幼児のいる世帯		名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア：乳幼児数（0～5歳未満）		人	3,940	3,934	3,773	3,703	3,750
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
・育児に関する正しい情報が得られ、自信を持って育児できる。 ・育児中の家族の育児不安を軽減する。 ・育児中の家族同士の交流が図られ、仲間づくりが推進される。		名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア：参加者の割合		%	48.0	45.1	50.3	50.0	50.1
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
・育児力が高まり、子育てが楽しいと思える。 ・健康な状態で生涯を暮らしてもらう。		名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア：子育てが楽しいと思う世帯の割合（問診票）		%	97.1	98.0	98.6	94.9	96.0
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	348	348	2,922	2,694	0	
	事業費計（A）		千円	348	348	2,922	2,694	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	4	3	0		
	延べ業務時間	時間	272	272	3,412	3,136	0		
	人件費計（B）	千円	1,103	1,161	14,474	13,177	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,451	1,509	17,396	15,871	0		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか？		母子保健法の規定により実施した。							
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		母子保健法の一部改正により、平成9年度から保健指導が県から市へ移譲され、本格的に事業化した。核家族化・少子高齢化・育児の孤立化等社会情勢の変化に伴い、育児に関する知識の普及と育児する家族支援の必要性が高まっている。							
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		赤ちゃん教室終了後のアンケートより、「子どもへのスキンシップを通じ、自分の育児にゆとりがもてそうだ。ベビーマッサージ以外多くのことを学べて勉強になった。」「核家族で育児の相談相手がいなかったが、教室に参加して同じような悩みを持つ母親が多くいることが分かった。参加して良かった」等の意見があった。							

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 母子保健法に基づき、健康で快適な市民生活を支援する目的で実施しており、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 母子保健法に規定されており、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 母子保健法に基づき実施するものであり、対象・意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 母子健康手帳交付時に全員に事業の説明と参加の呼びかけを、その他あらゆる機会を通じてPRしており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 母子保健法に基づき実施しているものであり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費で実施しているので、削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているので、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 乳幼児のいる世帯全員を対象としているので、公平・公正である

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								